

市民の皆さまの意識やご要望を的確に把握し、市政運営の諸計画立案の基礎資料とする市民意識調査の結果がこのほどまとまりました。

インターネットの利用状況、男女共同参画など今日的な課題を交えて行った今回の調査の結果について、その概要をお知らせします。

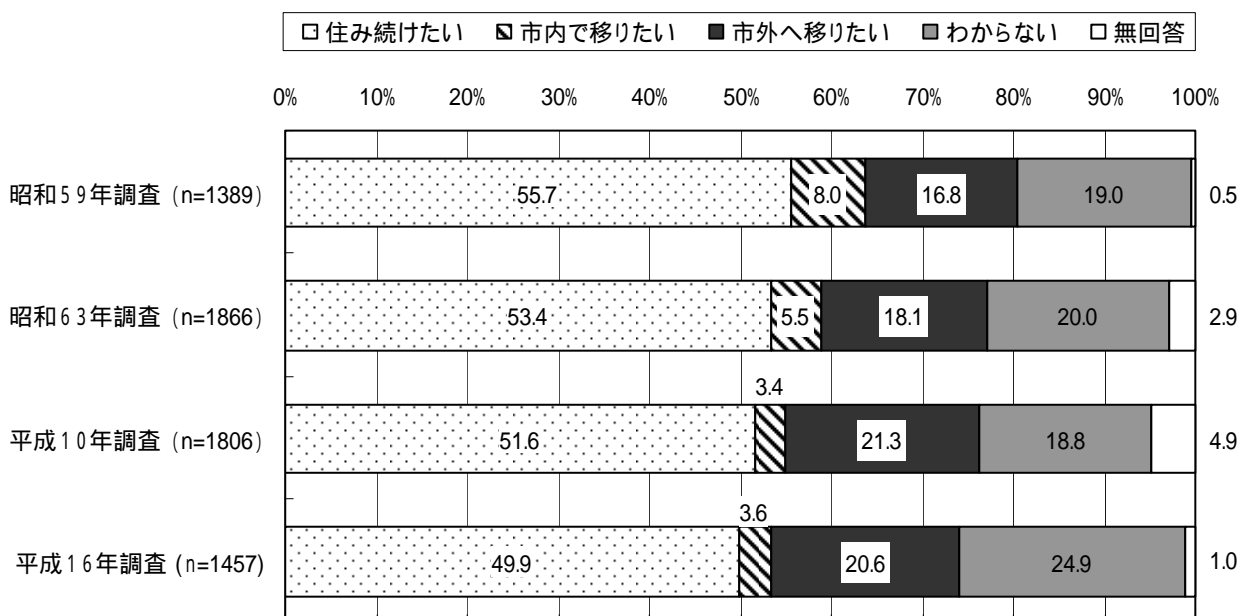
1 定住意識

53.5%が市内で住み続けたい

定住意識は、「住み続けたい」が49.9%、「市内で移りたい」が3.6%で併せて53.5%の人が市内に住み続けたいと回答しています。「市外へ移りたい」は20.6%でした。

定住の理由は「自分の家や土地があるから」が52.3%、次いで「住みなれて愛着があるから」が21.0%、「自然環境や土地柄がよいから」が8.5%などとなっています。

(現住地での定住意識)



2 生活環境

満足度が高いのは「飲み水」、低いのは「騒音・大気汚染」

住まいの周辺環境について、満足度が一番高いのは「飲み水」で、次いで「日当たりや風通し」、三番目は「台所・風呂などの排水処理」の順となっています。

反対に満足度の一番低いのは「騒音・大気汚染など」で、次いで「道路の整備状況」、三番目に「文化・スポーツ・娯楽などの施設」及び「交通安全について」となっています。

(周辺環境への満足度)

	順位	今回調査	平成 10 年調査
満足度高い	1 位	飲み水	飲み水
	2 位	日当たりや風通し	日当たりや風通し
	3 位	台所・風呂などの排水処理	日常の買い物
満足度低い	1 位	騒音・大気汚染など	騒音・大気汚染など
	2 位	道路の整備状況	道路の整備状況
	3 位	文化・スポーツ・娯楽などの施設 交通安全	交通安全

3 地域活動

「気軽な」、「あいさつ程度」の近所づきあいが 75.5%

近所づきあいの考え方は最も多かった「気軽なつきあいをしたい」が 49.0%、「あいさつ程度」が 26.5%、「親密なつきあい」が 22.0%となっています。今回調査では、「あいさつ程度」が「親密なつきあい」を上回りました。

地域活動は自治会参加が一番多い

参加している地域活動は「自治会」が一番多く 43.0%、次いで「趣味・学習・伝統文化などの団体活動」が 12.6%で、PTA など他の活動はいずれも 10.0%未滿となっています。

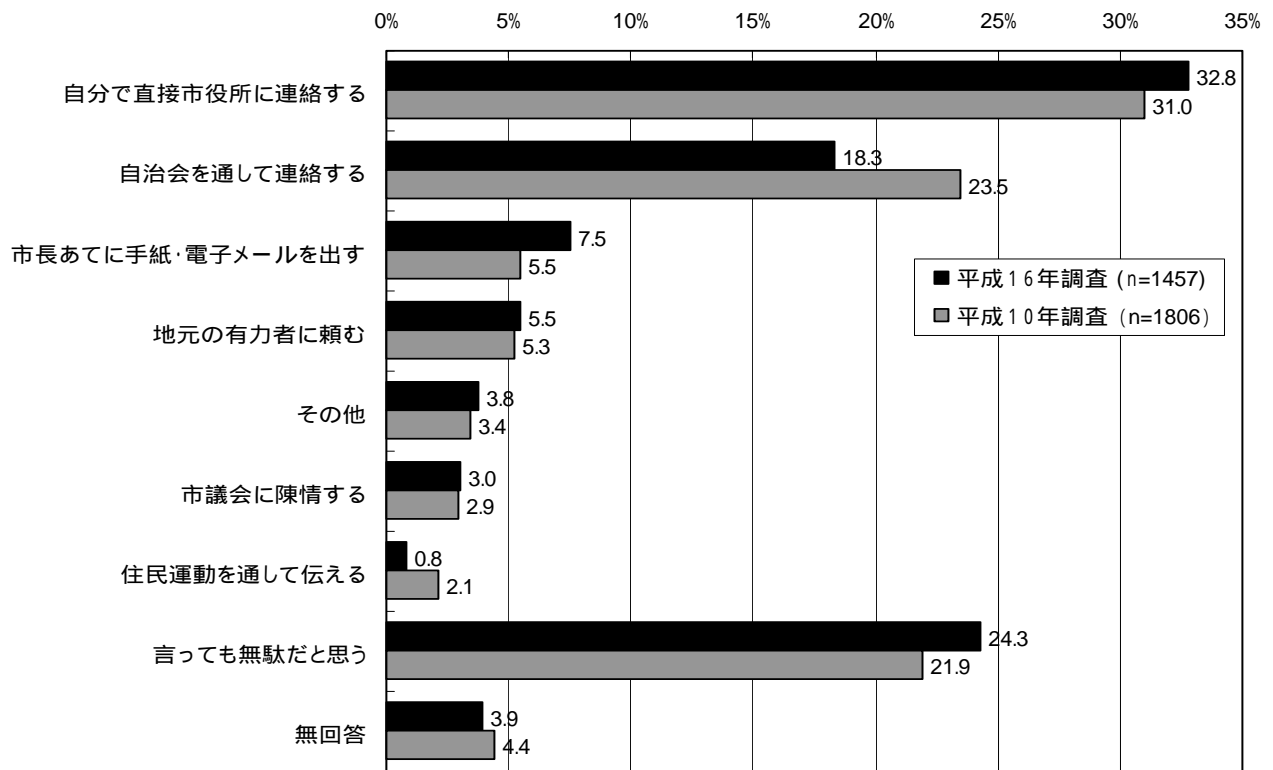
4 市民参加・広報・情報化

市民参加

要求、問題は「直接市役所」、「自治会を通して」市政反映

身のまわりのことを市政に反映させる方法は、「直接市役所」が 32.8%で 1 番多く、次いで「自治会を通して」が 18.3%となっています。過去の調査と比較すると「市長宛に手紙・電子メールを出す」、「言っても無駄だと思う」などの比率が増加しています。

(要求や問題を市政に反映させる方法)

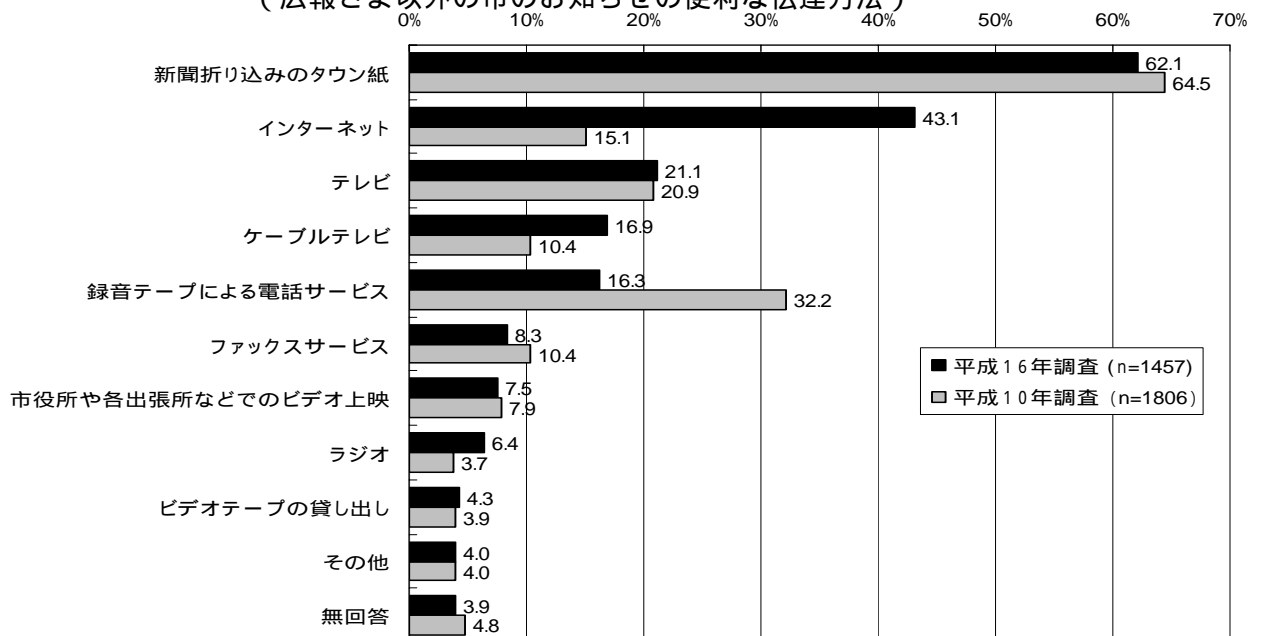


広報

「広報ざま」以外で市の情報を得るのに便利なのは「新聞折込のタウン紙」、「インターネット」が大きく増加

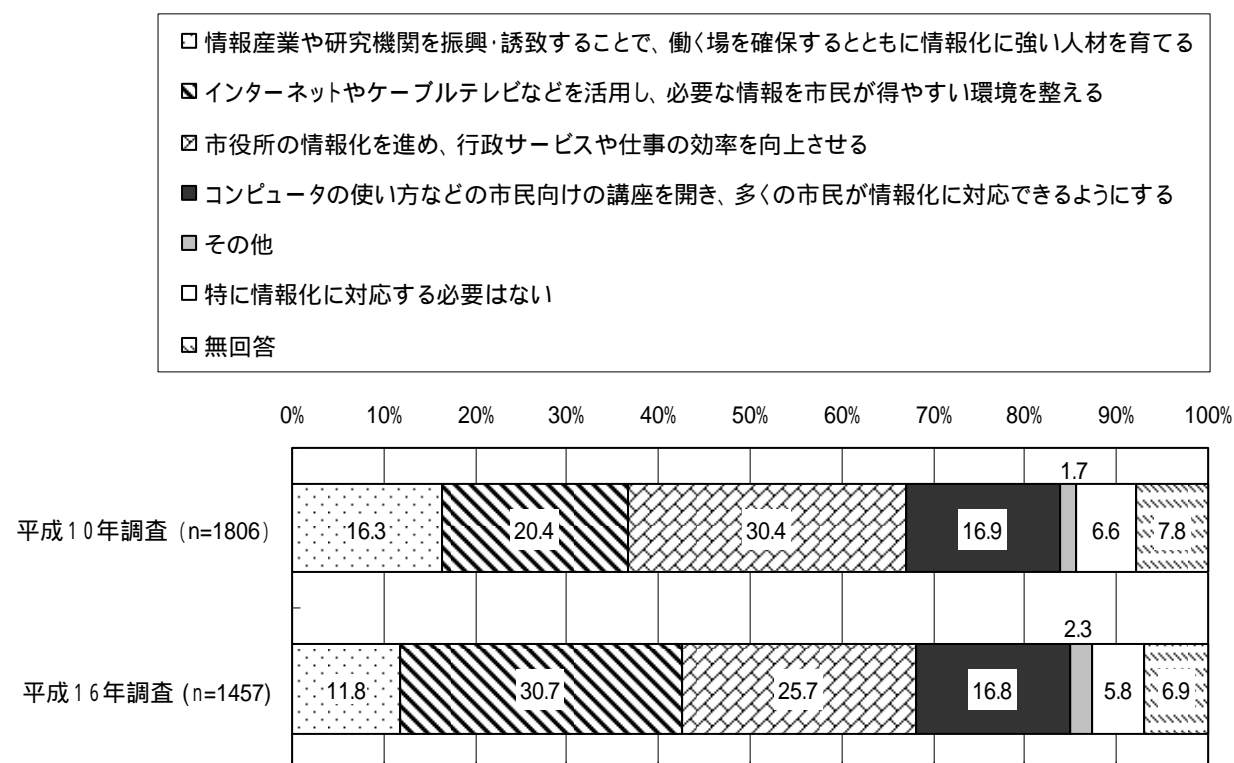
「広報ざま」のほか、市のお知らせを便利に入手する方法で1番多いのは「新聞折込のタウン紙」、次いで「インターネット」の順になっています。前回調査と比較すると「インターネット」が増加し、「録音テープによる電話サービス」が大きく減少しました。

(広報ざま以外の市のお知らせの便利な伝達方法)



情報化

インターネットやケーブルテレビなどの活用で市民が必要な情報を得やすい環境を市が重点的に行うべき情報化施策の上位は「インターネットやケーブルテレビを活用し、必要な情報を市民が得やすい環境を整える」が30.7%で一番多く、次いで「市役所の情報化を進め、行政サービスや仕事の効率を向上させる」で25.7%になっています。



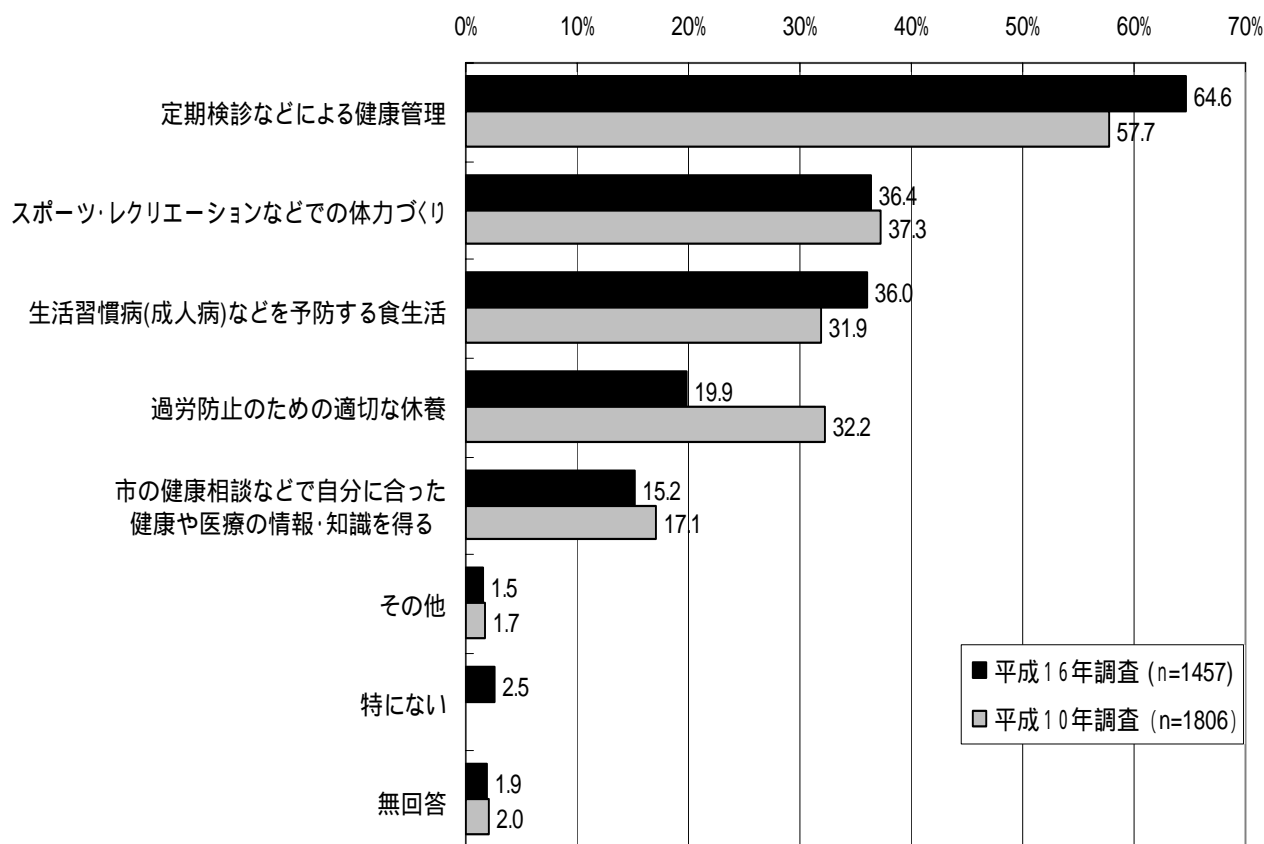
5 健康づくり

最も多かったのは「定期健診などによる健康管理」

健康づくりのために重要だと思うこと(複数回答)は、「定期健診などによる健康管理」が64.6%と最も多く、次いで、「スポーツ・レクリエーションなどでの体力づくり」が36.4%、「生活習慣病(成人病)などを予防する食生活」が36.0%、「過労防止のための適切な休養」(19.9%)となっています。

過去の調査と比較すると、「過労防止のための適切な休養」の比率が大きく減少し、「定期健診などによる健康管理」、「生活習慣病(成人病)などを予防する食生活」は微増しています。

(健康づくりのために重要だと思うこと)



6 高齢化社会

「福祉サービスの充実」が大切

高齢者が安心して暮らしていくために大切なこと(複数回答)は、「介護が必要になったときのための福祉サービスの充実」が 43.0%と最も多く、次いで「年金の充実」が 34.3%、「病気にかかったときのための医療対策の充実」が 26.6%と続いています。

7 自由時間

趣味・教養講座の開催を

自由時間(余暇)を過ごすために必要な施策・施設(複数回答)は、一位が「趣味・教養講座の開催」の 49.9%、次いで、「公民館・コミュニティセンターなど学習・文化活動の場の提供」の 27.9%、「スポーツ施設の整備」26.5%となっています。

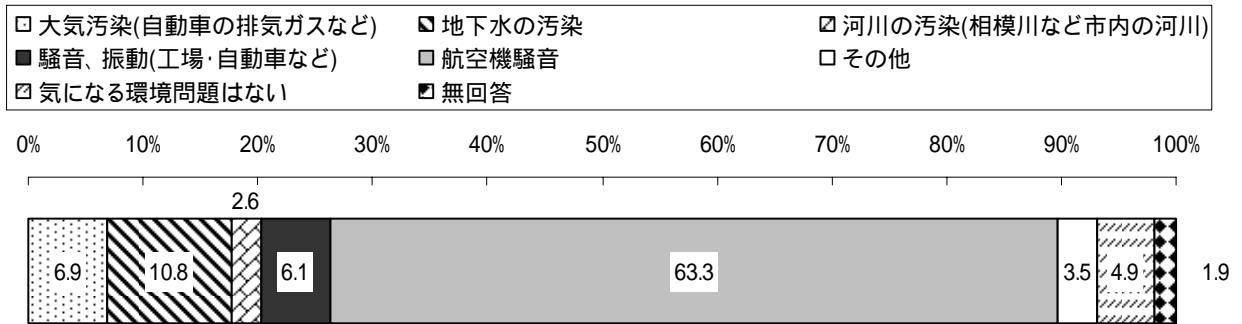
8 環境問題

「航空機騒音」に関心が集中

一番気になる環境問題は、「航空機騒音」が 63.3%、「地下水の汚染」が 10.8%となっています。

(座間市に住んでいて気になる環境問題)

(n=1457)



実行しているのは「ごみの分別の徹底」

環境のため日ごろから気を付けていること(複数回答)は、「ごみの分別を徹底して行っている」が最も多く 69.4%、次いで、「電気や水道水の無駄づかいをしない」が 57.7%となっています。

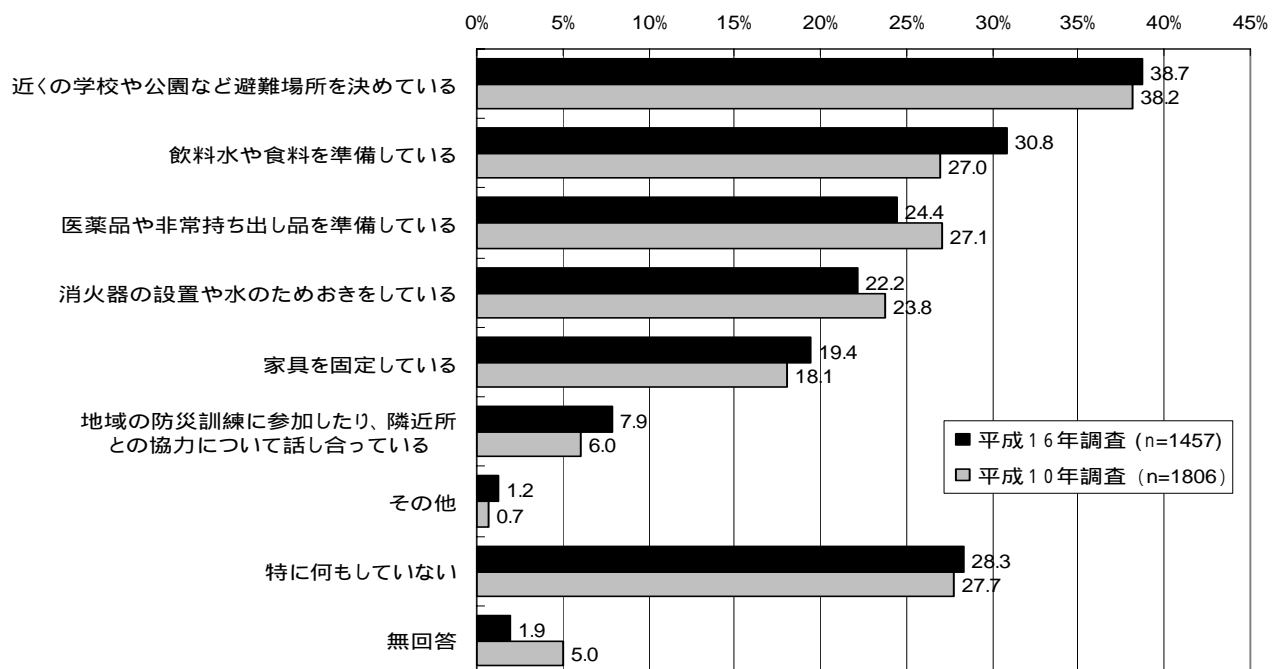
9 防災

避難所を決めている回答者は約 4 割

地震や火災に備えてとっている対策は、「近くの学校や公園など避難場所を決めている」が最も多く 38.7%、次いで、「飲料水や食料を準備している」が 30.8%となっています。

一方、市が力を入れるべき防災対策は、「正確な情報を伝達する体制づくり」が最も多く 42.5%、次いで、「飲料水、食料などの確保」が 24.2%となっています。

(実行している防災対策)



10 男女共同参画

実現のためには「家事、育児を手助けする人を派遣する制度の創設」を「『男は仕事、女は家庭』に同感する」は 12.9%、 「同感しない」は 47.0%、 「どちらともいえない」は 36.4% でした。

男女共同参画社会を実現していくための施策（複数回答）の一位は「病気や緊急時に家事、育児を手助けする人を派遣する制度の創設」で 33.5%、次いで「延長保育等の保育事業や学童クラブの拡充」が 30.2%、「就労条件改善の啓発」が 25.5%となっています。

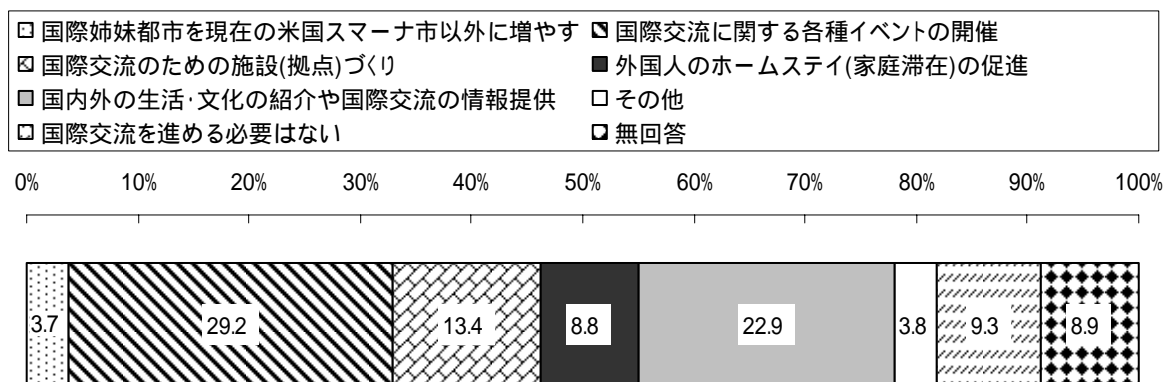
11 国際交流

交流イベントや生活・文化紹介、情報提供を

市民の国際交流を進めるために必要なことは、「国際交流に関する各種イベントの開催」が一位で 29.2%、次いで、「国内外の生活・文化の紹介や国際交流の情報提供」が 22.9%となっています。

(n=1457)

（市民の国際交流を進めるために必要なこと）



市民意識調査のあらまし

調査内容

前回調査と継続して尋ねた「定住意識」「生活環境」「地域活動」「環境問題」などの項目に加え、今日的な課題として「情報化」「男女共同参画」など 11 の調査項目について計 23 の設問を行いました。

調査方法

調査は、住民基本台帳から無作為に選んだ満 20 歳以上の男女 3,000 人の方を対象に、平成 16 年 12 月 10 日から 12 月 28 日の間に 600 人分を訪問配布、2,400 人分を郵送配布し、郵送回収して実施しました。有効回収数は 1,457、回収率は 49.4%となっています。

この市民意識調査の詳しい報告書は、市役所 1 階市民情報コーナーや、各コミュニティセンターなどで閲覧することができます。また、座間市ホームページにも掲載しております。